

平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年1月8日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 牧平 年廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 安武 浩 (TEL) 092-503-0050
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|------|----------------------------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年2月期第3四半期 | 5,389 | △0.1 | 417 | △6.8 | 505 | △1.7 | 305 | △6.3 |
| 30年2月期第3四半期 | 5,396 | △1.9 | 448 | △13.7 | 513 | △11.0 | 325 | △2.1 |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 31年2月期第3四半期 | 58.04 | | — | | | | | |
| 30年2月期第3四半期 | 60.85 | | — | | | | | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年2月期第3四半期 | 5,330 | 3,834 | 71.9 |
| 30年2月期 | 5,022 | 3,641 | 72.5 |

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 3,834百万円 30年2月期 3,641百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期 | — | 5.50 | — | 5.50 | 11.00 |
| 31年2月期 | — | 5.50 | — | — | — |
| 31年2月期(予想) | — | — | — | 5.50 | 11.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,000 | 5.5 | 245 | 22.6 | 350 | 20.7 | 216 | 58.3 | 41.05 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年2月期3Q | 5,551,230株 | 30年2月期 | 5,551,230株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年2月期3Q | 289,969株 | 30年2月期 | 289,909株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年2月期3Q | 5,261,295株 | 30年2月期3Q | 5,356,143株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、当初、大企業に企業収益の改善傾向が見られていたものの、原油相場や米中貿易摩擦の動向、国内において深刻化する人手不足などの先行き懸念が、投資活動に慎重姿勢を取らせております。一方、個人消費では、今年10月に予定されている消費税率引き上げの影響などの不透明感が、消費マインドに慎重姿勢を取らせております。

当クリーニング業界におきましては、総需要の減少傾向に加え、クリーニング所施設の総数も全国で減少するなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は、お客様満足度の向上を目指し、営業面の強化と品質及び生産性の向上に取り組みました。

営業面においては、当社の主力商品である「オゾン&アクア/ドライ」が累計販売数1億点を突破したことを記念して、感謝キャンペーンを9月20日から10月31日までの期間で実施いたしました。期初からは、春の衣替えシーズンに合わせて「春のプレゼントキャンペーン」と「新規ご入会キャンペーン」、7月・8月には、お客様に楽しんで頂くためのイベントとして「ナイターセール」を実施するなど、特別会員数の増大と販促強化に取り組みました。

生産面においては、平成30年3月に技術・品質・生産性の向上を目的として全工場一斉の「仕上げ競技会」を実施しました。

店舗政策は、新規出店として8店舗を出店しました。その内、3店舗は平成30年3月1日付の事業の一部譲受けによるもので、大阪府に3店舗を取得しました。その一方、不採算店の閉鎖や取次店オーナーの高齢化に伴う閉鎖により41店舗を閉鎖し、当第3四半期累計期間末の店舗数は642店舗（前事業年度末に比べて33店舗の減少、前年同四半期累計期間末に比べて38店舗の減少）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、6月、7月の豪雨や度重なる台風に加えて記録的な猛暑など天候の影響を受け、売上高は5,389,224千円と前年同四半期と比べ7,001千円(0.1%)の減収となりました。

利益につきましては、前事業年度の平成29年8月に創設した新しい店長制度に基づく店長の直営店配置や労働力確保のための人件費等の増加で、営業利益は417,662千円と前年同四半期と比べ30,388千円(6.8%)の減益、経常利益は505,203千円と前年同四半期と比べ8,570千円(1.7%)の減益、四半期純利益は305,367千円と前年同四半期と比べ20,574千円(6.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて412,776千円増加し、1,501,532千円となりました。これは、現金及び預金が361,896千円、売掛金が34,338千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて105,463千円減少し、3,828,755千円となりました。これは、投資その他の資産が68,808千円、有形固定資産が20,756千円、無形固定資産が15,899千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて307,312千円増加し、5,330,288千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて178,648千円増加し、886,810千円となりました。これは、未払法人税等が118,572千円、未払金が21,545千円、買掛金が13,469千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて63,823千円減少し、609,210千円となりました。これは、長期借入金が55,503千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて114,824千円増加し、1,496,020千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて192,487千円増加し、3,834,267千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が54,969千円減少したものの、利益剰余金が247,493千円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、現時点において、平成30年4月13日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 878,892 | 1,240,789 |
| 売掛金 | 59,199 | 93,537 |
| 商品 | 23,785 | 22,893 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,756 | 25,272 |
| 前払費用 | 76,743 | 83,566 |
| その他 | 26,379 | 35,473 |
| 流動資産合計 | 1,088,756 | 1,501,532 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 328,898 | 329,270 |
| 土地 | 1,819,698 | 1,805,119 |
| その他(純額) | 67,833 | 61,285 |
| 有形固定資産合計 | 2,216,430 | 2,195,674 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 17,618 | 20,237 |
| その他 | 83,225 | 64,706 |
| 無形固定資産合計 | 100,843 | 84,944 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 727,128 | 647,283 |
| 差入保証金 | 540,434 | 527,854 |
| その他 | 357,795 | 381,401 |
| 貸倒引当金 | △8,413 | △8,403 |
| 投資その他の資産合計 | 1,616,945 | 1,548,136 |
| 固定資産合計 | 3,934,219 | 3,828,755 |
| 資産合計 | 5,022,976 | 5,330,288 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 28,526 | 41,996 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 78,946 | 74,004 |
| 未払金 | 338,334 | 359,879 |
| 未払法人税等 | 29,200 | 147,772 |
| 賞与引当金 | 27,895 | 39,938 |
| 資産除去債務 | 735 | 369 |
| その他 | 104,524 | 122,849 |
| 流動負債合計 | 708,162 | 886,810 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 212,493 | 156,990 |
| 退職給付引当金 | 132,360 | 138,880 |
| 役員退職慰労引当金 | 114,698 | 118,283 |
| 資産除去債務 | 107,080 | 107,641 |
| その他 | 106,401 | 87,414 |
| 固定負債合計 | 673,034 | 609,210 |
| 負債合計 | 1,381,196 | 1,496,020 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 555,092 | 555,092 |
| 資本剰余金 | 395,973 | 395,973 |
| 利益剰余金 | 2,814,607 | 3,062,101 |
| 自己株式 | △166,866 | △166,903 |
| 株主資本合計 | 3,598,807 | 3,846,264 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,971 | △11,997 |
| 評価・換算差額等合計 | 42,971 | △11,997 |
| 純資産合計 | 3,641,779 | 3,834,267 |
| 負債純資産合計 | 5,022,976 | 5,330,288 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日) |
|------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 売上高 | 5,396,226 | 5,389,224 |
| 売上原価 | 1,519,656 | 1,505,311 |
| 売上総利益 | 3,876,570 | 3,883,912 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,428,519 | 3,466,250 |
| 営業利益 | 448,050 | 417,662 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 10 |
| 受取配当金 | 5,598 | 12,673 |
| 受取家賃 | 35,161 | 35,793 |
| 受取保険金 | 7,888 | 21,943 |
| その他 | 22,056 | 23,108 |
| 営業外収益合計 | 70,714 | 93,530 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,186 | 851 |
| 賃貸借契約解約損 | 800 | 5,051 |
| リース解約損 | 2,810 | — |
| その他 | 194 | 85 |
| 営業外費用合計 | 4,990 | 5,988 |
| 経常利益 | 513,773 | 505,203 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 18,747 | — |
| 特別利益合計 | 18,747 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 11,109 |
| 固定資産除却損 | 5,012 | 467 |
| その他 | 54 | — |
| 特別損失合計 | 5,066 | 11,577 |
| 税引前四半期純利益 | 527,455 | 493,626 |
| 法人税等 | 201,513 | 188,258 |
| 四半期純利益 | 325,941 | 305,367 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。